

フードドライブ活動 LOOP～つながる輪～笑顔の輪

代表者 池田 就（法学部 法学科 2年）

1. 目的と概要

この事業は、フードドライブ活動への参加をきっかけとして、地域住民に食品ロス削減やSDGsに関心を持っていただくことを目的としている活動である。フードドライブ活動とは、家庭で集まった食品を集約し、これを寄付する活動のことである。この活動を通じて、地域住民と交流を深めながら食品ロス削減やSDGsに対する意識の向上や、地域活性化につなげたいと考えている。また、高松市社会福祉協議会に食品を寄付することで、支援が必要な方々に少しでも貢献したいと考えて実施している事業である。

2. 実施期間（実施日）

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

今年度の活動は、昨年度の活動場所（大町コミュニティセンター、国分寺北部コミュニティセンター、仏生山コミュニティセンター、ライオン通商店街 Smile' s）から拡大し、新たに多肥コミュニティセンターを加えた計5か所を軸にフードドライブ活動を行った。また、高松市ゼロカーボンシティ推進課ならびにマックスバリュ西日本と協力し、10月30日の食品ロス削減の日にあわせ、10月23日～10月29日の期間中、高松市役所1階玄関前とマルナカ栗林南店にてフードドライブウィークを行った。加えて、香川県循環型社会推進課ならびに香川県内に店舗を持つ食品スーパー8社（イオンリテール（株）、（株）フジ・リテイリング、マックスバリュ西日本、（株）マルヨシセンター、新鮮市場きむら、生活協同組合コープかがわ、（株）イズミ、（株）ムーミー）と連携し、香川県庁や県内のスーパー56店舗において、1月15日のフードドライブの日にあわせ、1月15日から1月26日の期間中、香川県食品ロス削減推進キャンペーン「みんなで目指そう！食ロスゼロ県かがわ県」を開催し、フードドライブ活動を行った。そのほかにも、小学校やライオンズクラブなどが主催するフードドライブ活動にも参画することで活動の幅を広げることができた。

回収量は、大町コミュニティセンターで106kg、国分寺北部コミュニティセンターで19kg、仏生山コミュニティセンターで126kg、高松ライオン通商店街 Smile' s で65kg、多肥コミュニティセンターで233kgにのぼり、地域住民に持参していただいたたくさんのお食品を高松市社会福祉協議会へ寄付することができた。また、フードドライブウィークでは、高松市役所80kg、マルナカ栗林南店98kgの計178kgを寄付した。さら

に、香川県食品ロス削減推進キャンペーン「みんなで目指そう！食ロスゼロ県かがわ県」では、香川県庁にて225kg、県内のスーパー56店舗にて1027kg（生活協同組合コープかがわ680kg、マックスバリュ西日本93kg、イオンリテール（株）30kg、（株）フジ・リテイリング20kg、（株）マルヨシセンター72kg、新鮮市場きむら65kg、（株）ムーミー37kg、（株）イズミ30kg）の計1252kgもの食品をフードバンク香川へ寄付することができた。加えて、他の団体主催のイベントである高松地区労フェスティバルでは58kg、TAKAMATSU こどもサミットでは20kgの食品を寄付することができた。

またフードドライブ活動のほかにも、地域の方々の食品ロス問題の理解度を高めるため、香川県の食品ロスの現状やSteePメンバーが行っている食品ロス削減に関する活動をまとめたリーフレットを作成した。作成したリーフレットは小学生の親子を対象としており、フードドライブ活動やイベント参加時に配布をすることで積極的な啓発活動を行うことができた。

以上の活動により、今年度の開催で合計約2060kgの食料品を寄付することができた。また、エコレシピの配布や食品ロス問題に関するクイズラリーの実施、香川県食品ロス削減推進キャラクター「たるる」を用いた啓発を行うことで、香川県民の皆さんに食品ロスの現状を知っていただくことができた。さらに、作成したリーフレットを利用した啓発活動も行うことにより、幅広い年齢層に食品ロス問題やSDGsについて興味を持ってもらい、自分自身の生活を見直すきっかけをつくることにつながったと考えている。



多肥コミュニティセンターでの開催の様子



高松市役所での開催の様子



香川県庁での開催の様子



小学校への訪問の様子



本事業で作成した食品ロス削減リーフレット



仏生山コミュニティセンターでの開催の様子

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

この事業を実施したことで、地域住民がSDGsや環境問題を知り、身近に感じるきっかけをつくることのできた。特に、香川県食品ロス削減推進キャンペーン「みんなで目指そう！食ロスゼロ県かがわ県」や作成したリーフレットの配布を通して、昨年度よりも幅広い地域や年齢層への啓発活動を行うことができ、食品ロスに対する意識の向上に貢献することができた。また、各回のフードドライブ活動では、事前に近隣の小・中学・高校にご協力いただき、学生が香川県食品ロス削減推進キャラクター「たるる」とともに学校に赴いてフードドライブ活動の周知を行うことで、児童・生徒を通じてご家庭で食品ロスについて考える機会を創出することができた。

これらのフードドライブを開催するにあたっては、開催前にプレスリリースを作成しメディアにイベントの情報発信を行うことで、NHK高松放送局やKSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送などのテレビ局をはじめとして、日本経済新聞や広報高松、香川県地球温暖化防止活動推進センターのYouTubeチャンネル「せとecoちゃんねる」といった多くの媒体に取り上げていただいた。このようなことから、食品ロス削減に関心のない方々に対してもフードドライブ活動の実施を知ってもらうことができ、フードドライブ活動の

参加者増加につながった。また、香川大学生の SDGs への取り組みを地域住民に知っていただくことができた。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

この事業では、食品ロス問題をはじめとする環境問題について、主催である私たち自身の意識向上につながった。例えば、家にある食品を適宜確認して消費・賞味期限内に食べ切ることや他の団体が行っている食品ロス削減活動に意識を向けるようになった。また、今までより食品ロス問題に注目することにより、普段の生活のなかで身近な人にも食品ロス削減に繋がる行動を勧めるようになった。

さらに、フードドライブ活動の際に、地域の方とコミュニケーションを取るなかでお褒めの言葉をいただく機会が増えたことによって、活動の重要性をあらためて実感でき、大変有意義な活動につながっていることを実感した。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今年度の反省点は2点ある。1つ目は、広報活動についてである。今年度の活動では、主にコミュニティセンターでの開催において、チラシ配布や SNS 投稿の遅れにより集客不足に繋がった月が生じた。そのため次年度では、先を見通した計画づくりに努め、早めの情報発信を行うことで改善していきたい。

2つ目は、今年度作成したリーフレットについてである。今年度は新たに作成したリーフレットを利用して啓発活動を行ったが、作成したリーフレットには情報が過剰に詰め込まれており、大人には分かりやすいが、特に小学生には一見ただけで理解することが難しいという意見があがった。そのため次年度では、小学生にも内容が理解でき、私たちが行っている小学生向けの出前講座でも使用できるようなわかりやすいデザインのリーフレットを作成したい。具体的には、2019 年度に私たち SteeeP が高松市環境総務課と共同で子供向けに作成した「くーるちょいすノート」（内容：地球温暖化防止への取り組み）を新しくして、「食ロスゼロノート（仮）」を作成したいと考えている。内容は、食品ロス削減について小学生でも楽しく理解できるようにわかりやすい表現とイラストを用いたものを想定している。これらをフードドライブ活動での広報や小学校での出前講座にて効果的に利用し、食品ロス削減の啓発活動を行いたい。

次年度の計画としては、本年度と同様に月に1回以上の、フードドライブの実施を予定しているが、具体的な開催場所については、今年度開催した場所にとどまらず、新たな場所での実施も検討している。さらに、香川県庁や高松市役所でのフードドライブウィークも引き続き実施にむけて準備を進めていきたい。加えて、次年度はコミュニティセンター近隣の小学校の児童会や、中学・高等学校の生徒会と連携したフードドライブ活動を積極的に行い、これからの将来を担う人材への啓発活動、ならびに香川大学の広報にも努めたいと考えている。

最後に、今年度は私たちの活動に賛同し協力してくださる個人・団体も増え、活動の規模を広げることができた。それに伴い、香川県の食品ロス削減により貢献することができたように感じる。次年度はフードドライブ活動も3年目となるが、これからも地域

の皆様への感謝を忘れず活動を続け、地域住民の環境問題やSDGsに対する意識の向上に努めていきたい。

7. 実施メンバー

代表者	池田 就	(法学部 2年)		
構成員	寺内 柚太	(法学部 4年)	臼井 穂乃歌	(法学部 1年)
	日笠 綾音	(経済学部3年)	佐伯 拓真	(経済学部 1年)
	満 南菜子	(教育学部3年)	定雪 遼冴	(法学部 1年)
	中山 由理	(教育学部3年)	白石 和	(法学部 1年)
	西馬 あい	(経済学部3年)	妹尾 萌花	(経済学部 1年)
	美馬 妃華	(経済学部3年)	高橋 礼紗	(創造工学部1年)
	山本 莉子	(経済学部2年)	中条 優香	(経済学部 1年)
	猿渡 俊	(経済学部3年)	友寄 隼颯	(経済学部 1年)
	八尾 俊征	(経済学部3年)	原 優佳	(医学部 1年)
	植村 実央	(経済学部2年)	姫野 優作	(経済学部 1年)
	江口 侑輝	(経済学部2年)	平塚 凜	(経済学部 1年)
	榎本 祐大	(経済学部2年)	廣戸 悠	(法学部 1年)
	白石 歩美	(経済学部2年)	福家 朋佳	(経済学部 1年)
	新木 美優	(経済学部2年)	逸見 茉央	(経済学部 1年)
	傳谷 未来	(経済学部2年)	三谷 佳子	(創造工学部1年)
	土井 萌未	(経済学部2年)	宮本 朝日	(農学部 1年)
	松尾 妃洋音	(経済学部2年)	六車 謙伸	(農学部 1年)
	磯尾 真理子	(法学部 1年)	森本 美咲	(経済学部 1年)
	氏家 茉緒	(農学部 1年)		

8. 執行経費内訳書

配分予算額		293,636円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
チラシ印刷(A4片面)	6,640	3.7	24,420	
ビニールテープ	1	176	176	
宝来鈴	40	27.5	1,099	
鈴	20	33.9	658	
タコ糸	1	120	120	
画用紙(白色5枚入り)	1	100	100	
色画用紙(10色20枚入り)	1	329	329	
色画用紙(水色10枚入り)	1	154	154	
色画用紙(青色10枚入り)	1	154	154	

画用紙（白色10枚入り）	1	186	186
ブルーシート	1	505	505
フェライト磁石（U字型）	3	122	363
フェライト磁石（丸型）	3	186	558
リーフレットデザイン費（A4両面）	1	57,200	57,200
リーフレット印刷費（A4両面）	10,000	40,610	40,610
折りたたみコンテナ	35	2,519	88,165
はかり	1	8,349	8,349
ラベルライター テプラPRO	1	8,789	8,789
テプラPROテープ（18mm）	5	1,639	8,195
脂製運搬車サイレントマスター	1	26,290	26,290
ガソリン代	3	1,359.6	4,889
交通費			
【琴平電鉄】			
①瓦町－六万寺、片道	4	360	1,440
②八栗－古高松、片道	4	200	800
③古高松－湊元（途中下車）－瓦町、片道	4	200	1,080
④瓦町－太田、片道	4	270	1,080
⑤太田－瓦町、片道	4	270	1,080
【JR四国】			
①高松駅－端岡、往復	2	560	1,120
②昭和町－引田、片道	4	980	3,920
③引田－三本松、片道	4	280	1,120
④三本松－昭和町、片道	3	850	2,550
⑤三本松－栗林北口、片道	1	740	740
⑥昭和町－木太町、片道	2	240	480
⑦木太町－昭和町、片道	3	240	720
合 計			287,439